

三重県立熊野古道センターからのてがみ

“The Letter from Mie Prefecture Kumano Kodo Center”

2008, VOL.6



世界遺産子ども大使熊野に集う

熊野古道センターでは、去る2月9日・10日に開館1周年記念『世界遺産子ども大使フォーラムin熊野古道センター』を開催しました。日本各地の6世界遺産地域10校から、子ども大使18人が熊野古道センターへはるばる来てくれました。

9日は前日祭として『サンティアゴ巡礼路と熊野古道～もう一つの世界遺産の道に学ぶ～』と題し、サンティアゴ巡礼路にゆかりのある彫刻家の池田宗弘さんと、スペイン在住の山下絢子さんをパネリストにお招きし、感慨深いお話を聞きました。

10日の『世界遺産子ども大使フォーラム』では、知床、白神山地、日光、白川郷、屋久島そして紀伊山地の霊場と参詣道の代表として子ども大使が集結。午前中は白い息を吐きながら熊野古道・馬越峠を歩き、午後からは地元尾鷲中学校3年生の高芝瞳さんと藤原小百合さんによる司会進行で子ども報告会・シン

ポジウムを行いました。この日の為にかけてくれた野呂三重県知事のメッセージに始まり、それぞれのお国自慢と活動についての報告会では、子どもたち自身が、世界遺産を守ろうと一生懸命な姿が伝わってきました。一つの例ですが、白神山地の子どもたちは、遠い未来に育つことを願ってブナの苗木を植樹し続けているそうです。

夜の交流会では、相可高校食物調理科・村林先生の指導のもと、九鬼小・中学校の生徒さんに郷土の料理を作ってもらい、みんなで仲良く食べました。交流会が終わる頃にはすっかり打解け、楽しそうな子どもたちの様子を見て、これからの世界遺産を継承する子どもたちの為にも様々な世代に日々呼びかけていくことが大切だと感じました。

次のページでは、子ども大使から届いたメッセージを紹介しているのでご覧ください。



● 子ども大使からのメッセージ ●

知床代表 斜里町立ウトロ小学校

5年 梶原大悟君

初めて三重県に来て、馬越峠の石畳の道を歩いたことは、とても良い体験となりました。また、日本全国の世界遺産保護活動をしているみなさんと地元の同級生と交流ができて楽しい1日を過ごせたことに感謝します。この企画を準備していただいた熊野古道のスタッフのみなさんありがとうございました。

屋久島代表 屋久島町立一湊中学校

3年 真辺敬吾君・2年 山尾 閑君

世界遺産フォーラムへの参加はとてうれしい経験でした。屋久島と同じ自然遺産である知床、白神山地に興味を持っていましたが、他の場所もそれぞれに大きな魅力があり、私たちの知らない世界を見た気がしました。同じ世界遺産の1つとして屋久島を伝えられたことを誇りに思っています。

知床代表 羅臼町立春松中学校

2年 遠嶋 柚さん

自分の町以外の世界遺産でどんな活動をしているのかなどを知ることができ、とても勉強になりました。守っていくためにどうすればいいかをよく考えて、人間が守っていくことが大切なのだと思います。

白川郷代表 白川村立白川中学校

3年 木戸口ななみさん・和田結希さん

熊野古道を歩いてみて、もっと他の世界遺産に触れてみたいと思いました。そしていろいろな世界遺産を見て、白川村に生かしたいと感じました。また、改善点はちゃんと直していきたいと思いました。

白神山地代表 八峰町立八森中学校

2年 鈴木 茜さん・熊谷みずはさん

はじめて熊野古道に触れ、有意義な時間を過ごすことができました。フォーラムでは、世界遺産や各地の自然を守っていくとする人達の心を知ることができました。私達も今後の活動に工夫を凝らしていきたいと思っています。

紀伊山地の霊場と参詣道 三重県代表 紀北町立赤羽中学校

3年 平野はるみさん・平野麻衣さん

北は知床から南は屋久島まで、多くの学校と交流し、ほんとうに貴重な体験となり、また、すばらしい時間を過ごすことができました。様々な準備を下さったスタッフのみなさん、ありがとうございました。

白神山地代表 藤里町立藤里中学校

2年 淡路航生君・細川武尊君

熊野古道をはじめ、たくさん世界遺産の特色や、地元の活動について知ることができました。そして、僕たちの世界遺産にたいしての視野を広げることにつながりました。全国から集まった多くの人と交流できたことが嬉しかったです。

紀伊山地の霊場と参詣道 和歌山県代表 田辺市立三里中学校

2年 澤あも愛紅さん・野中彩加さん

熊野古道のことしか知らなかったけど、和歌山県以外の発表を聞いて色々な事が分かりました。その後の交流会での食事や、ゲーム等もとても楽しめました。また、こんな企画があったら絶対に行きたいです！

日光の社寺代表 日光市立東中学校

2年 桑名隼平君・小又千夏さん

今回子ども大使フォーラムに参加して、とても良い体験ができました。各地のみなさんの発表を聞いて世界遺産について、もっと多くの人に知ってもらい、大切にしていかなければならない私たちの使命を改めて感じました。

紀伊山地の霊場と参詣道 奈良県代表 十津川村立平谷小学校

6年 玉置鯉隆君・5年 天野雅也君

フォーラムの時緊張して前を見ることができませんでした。僕たち以外にも熊野古道小辺路の紹介をしている学校があったので驚きました。発表にVTRを使っている学校が他になかったのよかったです。



土地の違いや、文化遺産か自然遺産であるかの違いがあっても、発表を聞いていると多くの共通点があり、熊野古道は当地にとってだけでなく日本、そして世界共通の宝物であることを実感しました。

このたび、熊野古道センターは満1歳の誕生日を迎えました。今後も、熊野古道とその周辺の自然・歴史・文化を広く伝えていきます。そして、今回のイベントをきっかけに、世界遺産登録各地の子どもたち同士の交流が芽生えることを期待しています。



「民話の里巡り 赤倉」 ～奥熊野に棲まう、竜と蛙に会う旅～

イベントレポート

Event Report

赤倉は、熊野市街から車で数十分の山間にある小さな里です。今回は、赤倉でアマゴ養殖場を営む中平孝之さんの案内で、赤倉に伝わる民話『タツ島とビキ島』の舞台「大丹倉」や、『アメノウオ伝説』の舞台「雨滝」などの名所、その他の史跡を巡りました。厳しくも優しい熊野の大自然と共存



あまご屋にて

してきた民話の主人公たちの語りかけが聞こえるような、静かな旅の1日でした。この地をかつて通っていた道は、本宮や北山へ通ずる要路で、北山道の主要な道のひとつでもありました。3月30日開催の第2弾では、その一部を歩きます。



大丹倉前で記念写真

Event Info. 企画展 「くまのの植物画」 ～ナチュラリストがやって来た!!～

4/26
sat～

開催期間/平成20年 4月26日(土)～6月29日(日) 場所/企画展示室
時間/9:00～17:00 入場無料・会期中無休

熊野地方はシダや花など植物の宝庫。むかしから自然を愛する多くの人々が、調査などのためにこの地方を訪れてきました。彼らはその成果を、時には絵に描き、また時には墨で拓本をとるなどして残しています。今回の企画展では、そんなナチュラリストたちが描いた植物画や拓本を中心に紹介します。彼らの眼を通して、

熊野の野山を彩ってきた自然の豊かさを感じてください。

※付属企画は展示期間中に行いますのでセンターまでお問い合わせください。



「大福溪大台山巡回紀行」
(鎌井松石 四日市市立博物館蔵
鎌井愛子氏 寄贈)

その他の体験学習

4月12日(土) 東紀州の四季を味わう料理教室 ～春・行楽弁当～

◇時間:14:00～17:00 ◇参加料:2,000円
◇講師:相可高校 村林新吾先生 ◇定員:24名

月別 ひのきアート教室

◇時間:13:00～15:00 ◇参加料:1,000円
◇講師:池田比早子 ◇定員:10名

4月13日(日) メッセージカード
5月18日(日) 葉書

毎週日曜には、申し込んだその場で作れるひのきアート教室開催!

◇しおり 200円 ◇4月限定コサージュ600円
◇お箸 300円(市木木綿の箸袋付は600円)
◇木ポット200円(木のロケット型飾り)
◇時間:13:00～15:00 ◇講師:NPO法人海虹路会員 ◇定員:応相談
※日程が変更となる場合有り。

その他のイベント

5月3日(土)～5日(月)おわせ陶の会 第14回 作陶展 池坊仙潮会 生花展と裏千家茶会も同時開催(5月3日と4日のみ)

◇開催時間:9:00～18:00(最終日は16:00まで) ◇入場:無料
◇展示内容:おわせ陶の会会員の作品120点と、有名陶芸家の代表作の展示を行います。その他、手作り作品のチャリティ販売や、お楽しみ抽選会も有ります。

5月6日(火) 熊野古道音楽祭

春麗らかな芝生広場で地元アーティストたちが競演。メインステージは、木本高校吹奏楽部、尾鷲中学校、そして公募で集まった一般演奏者による合同演奏です。林哲司作曲・編曲「熊野古道」の合唱付きバージョンも初披露。この日だけの一期一会の和音が尾鷲の海山に響き渡ります。

◇参加料:無料 ◇場所:交流棟大ホール及び芝生広場
◇定員:200名(要申込、芝生広場での演奏鑑賞は申込不要)
※芝生広場での演奏者、合同演奏にご参加くださる一般演奏者を募集いたします。詳しくは熊野古道センターまでお問い合わせください。

講座・講演

4月19日(土)・20日(日) 熊野古道ガイド育成講座 ～熊野古道を安全にガイドするために～

熊野古道を中心にガイド・体験活動をしている方のための、安全で意義のある活動ができる人材を育成する講座です。安全管理や初対面の人の緊張をほぐす方法、“伝える技術”を学びます。(次回夏講座は6月6・7日)

◇時間:9:00～15:00 ◇参加料:2日連続講座で2,000円
◇場所:体験学習室及び馬越峠道 ◇指導:大杉谷自然学校
◇定員:30名 ◇共催:東紀州観光まちづくり公社

5月25日(日) 熊野古道講座 「熊野市二木島の文化財～釈迦涅槃図の絵解き～」

熊野市の最明寺に残る市の指定文化財、「釈迦涅槃図」の絵解きを通じて、地域に根付いた仏教のこころを感じていただく講座です。

◇時間:10:00～12:00(希望者のみ、弁当持参のうえ午後には二木島の文化財めぐり)
◇参加料:300円*雨天決行 ◇集合場所:熊野市二木島町・最明寺
◇講師:明治大学教授 林雅彦氏 ◇定員:40名
◇共催:国際熊野学会

新しい古道の歩き方

4月27日(日) 森に学ぶ その3「春を食べる」

尾鷲市賀田にある、かつての人々の生活と共に在ったトチの森の四季を訪ねます。今回は新芽が芽吹くトチの森で旬の山菜を食します。

◇時間:10:00～14:30 ◇参加料:1,000円(昼食含む)
◇講師:七見憲一氏・山本和彦氏 ◇定員:10名
◇共催:木育の会・尾鷲自然研究会・NPO法人海虹路

5月8日(木) 海の古道・山の古道「紀伊長島の陸と海をゆく」

熊野参詣が盛んな時代は陸だけでなく海のルートも発達していました。紀伊長島の海上を船で遊覧し、初夏の風を浴びながら海の古道・山の古道をご案内します。運が良ければ様々な海鳥にも出会えるかも!?

◇場所:紀伊長島周辺 ◇ガイド:堀内弘氏・植野めぐみ氏
※その他、時間・料金など詳細は決定次第、新聞等で発表します。

お申込みはお電話か、直接センターにどうぞ
TEL:0597-25-2666

まめ熊野塾

Guide & Tips 「熊野市二木島を巡る」

熊野市の二木島へ行ったことはありますか?
二木島にはたくさんの文化財が残っています。むかしこの浦で捕鯨が行われていたことをしのばせる鯨供養塔、隠れキリシタンが礼拝したキリシタン燈籠、道沿いにたたずむ何基もの巡礼供養碑などなど。そして浦内にある最明寺には、熊野市の指定文化財でもある立派な、「釈迦涅槃図」が現存しています。釈迦涅槃図とは、亡くなって横たわる(入滅)釈迦を

囲み、僧侶や獣、虫にいたるまでが悲しみにくれる様子を描いたものです。曼荼羅と同様に、隅々までみて絵解きをすれば、この図に残された様々な秘密が明らかになってくることでしょう。



最明寺本堂

熊野古道から のがみ

熊野古道から
のがみ

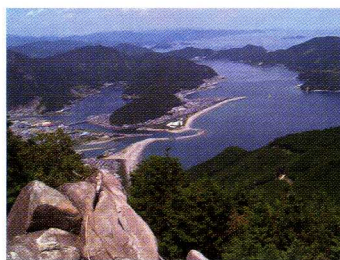
6 通目

めつきり春らしくなつてまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。新緑が芽吹き、花がいっせいに咲き出し、色鮮やかで熊野古道を歩くなら絶好の季節です。熊野古道には歴史、文化、景色などいろいろな魅力がありますが、動物や山野草、四季折々の花々と自然に接することができることも大事な魅力の一つです。

まもなくサクラの時期を迎えますが、春の花といえれば他にも、アセビ、キランソウ、ホトケノザなどいろいろあり、だんだん移り変わっていきますので、何度歩いてもそのたびに少しずつ違っていき飽きません。

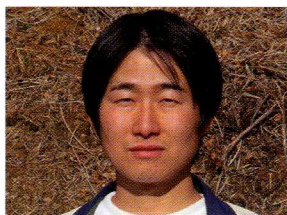
そして、熊野古道の特徴といえば道が海岸に沿っていることです。したがって海岸性の植物が多く、備長炭の材料となるウバメガシ、始神峠登り口周辺に群生しているハマダイコン、浜街道などに多いハマエンドウ、ハマヒルガオなどがあり、これらが花期のものもたくさんあります。

また、ツツジなら荷坂峠のオンツツジが有名ですが、馬越峠でも時期になると、ツツジの花がまるでトンネルのように咲いていて、その中を歩くことができます。熊本県から来てくれたグループが、ツツジの花の下で「まあ綺麗！遠くから来た甲斐があったね。」と叫んで喜んでくれたことは印象深い思い出です。さらに、珍しいことではありま



「オチョボ岩からの眺望」
馬越峠～(30分)～
天狗倉山頂～(40分)～
オチョボ岩

すが、運が良ければ動物たちに出会うことができます。私の経験では、サル、シカ、ウサギ、リス、ウリ坊(幼少期のイノシシ)に会いました。団体の真ん中へウサギが飛び出してきたときは大騒ぎでした。熊野古道は歩くたびに新しい発見や出会いがあります。辞典を片手に調べながら歩くのも楽しいものです。ぜひ体験してみてください。お待ちしております。



にしお ひろあき
西尾寛明さん(紀北町)
熊野古道語り部友の会幹事
海山熊野古道の会会員



次は紀北町の
玉津 充さん

花尻薫からの季節のたよりNo.6 「紀伊と漕で生まれた植物たち」

熊野川流域には、人がこの世に現れる以前から生きている貴重な植物が自生しています。そのなかでもキイ・ドロの名を貰った植物群がいくつかあります。キイセンニンソウ・キイトラッキョウ・ドロニガナ・ドロシモツケなどが、秘境で厳しい環境にもめげず何千年も生きながらえている姿を見ると、頭が下がります。ドロニガナやドロシモツケは熊野川の激流に耐えて岩の割れ目に根を張り、増水の環境に適応した漕八丁の固有種であり、キイトラッキョウは急流の岩の上でひっそりと花を咲かせています。母種といわれる親から分かれた貴重な種類を保護しなければなりません。春を待つ多くの植物とともに、やがて活動期に入ります。いつまでも生きて欲しいと願うのみであります。



←キイセンニンソウ



→キイトラッキョウ



→漕峡の風景

おしらせ

みえ尾鷲海洋深層水
夢古道の湯
古道センター斜め上、夢古道
おわせに誕生します。



4月11日オープン!!

お問い合わせ: TEL0597-22-1124



- お車: 国道42号線で尾鷲市内→矢の浜南交差点を海側へ曲がる→突き当たりを右折→県道を海沿いにしばらく走り、案内看板を右折して到着です。(国道から約10分)
- 電車: JR尾鷲駅下車→(徒歩5分)三重交通「尾鷲駅口」バス停→「紀伊松本行き」乗車→「熊野古道センター前」下車(バス乗車時間約10分)
- 松阪駅→南紀特急バス「熊野古道センター行」終点下車(約2時間)

☆熊野古道センターニュースレター☆ “熊野古道センターからのがみ Vol.6”

- 発行日: 2008年3月18日(季刊)
- 編集・発行: 三重県立熊野古道センター(三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当: 野田
- 連絡先: 〒519-3625 三重県尾鷲市大字向井字村島12番4 TEL 0597-25-2666 FAX 0597-25-2667 Mail info@kumanokodocenter.com H P http://www.kumanokodocenter.com/
- 開館時間 午前9時～午後5時
- 入場料 無料
- 休館日 12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館) 60000080318RN